

# よくある ご相談と その対応

## 【事例④】 パニックを起こす。

### NG対応

#### 1、落ち着かせようとして、言葉掛けを多くする。

- ・逆効果になる可能性があります。声を掛けられた刺激を受けて、更に興奮してしまうことがあります。

#### 2、力づくで止める。

- ・体に触られることが、極端に嫌いな子どもがいます。かえって反発や混乱を引き起こすこともあります。

### GOOD対応

#### 1、クールダウンさせる。

- ・興奮している間は、何を言っても聞かぬ耳をもてないことが多いです。周りに危険な物がない所で静かにさせ、落ち着くまで様子を見ます。

#### 2、予定の変更は、事前に知らせる。

- ・急な予定の変更は苦手です、パニックを起こしやすくしてしまいます。日課の変更はできれば前日までに、遅くとも朝の時点で知らせてあげてください。その時、口頭で伝えるだけでなく、視覚的な手掛かりを使って下さい。

#### 3、情報を集めて、予防に努める。

- ・どういう状況になるとパニックになってしまうのか情報を集め、そうならないように予防します。

【原因例】・予定の変更に対応することが難しい。

- ・何をしたらいいか、すべきことがわからない。
- ・感情をコントロールすることが難しい。
- ・特定の声（音）を嫌がる。

#### 4、何をしたらいいのか明確に示す。

- ・次に何をしたらいいのかわからないと、誰でも不安になるものです。ホワイトボード等を書いてあげて、わかりやすく伝えてあげてください。

【板書例】・《次の時間の準備》 ①机の中に、教科書とノートをししまう。

②時間割表を見る。

③机の上に、次の授業の教科書とノートを出す。